

群馬県 公立高校の入試制度

【2021年度版】

選抜概要

- 群馬県の公立高校入試（全日制）は、前期選抜と後期選抜の2回あります。前期選抜・後期選抜、ともに、すべての学校・学科で実施されます。

	出願期間	志望変更期間	入試日	合格発表日
前期選抜	2/1(月)・2(火)	なし	2/9(火)	2/18(木)
後期選抜	2/25(木)・26(金)	3/3(水)	3/9(火)・10(水)	3/17(水)

- 出願は、原則1校1学科（コース）に限ります。ただし、後期選抜において、複数の学科・コースを設置する学校の場合、同一高校の他の学科・コースを第2志望とすることも出来ます。学校ごとの規定がありますので事前に確認しておきましょう。
- 前期選抜・後期選抜の他に、連携型選抜、フレックススクール選抜などがあります。

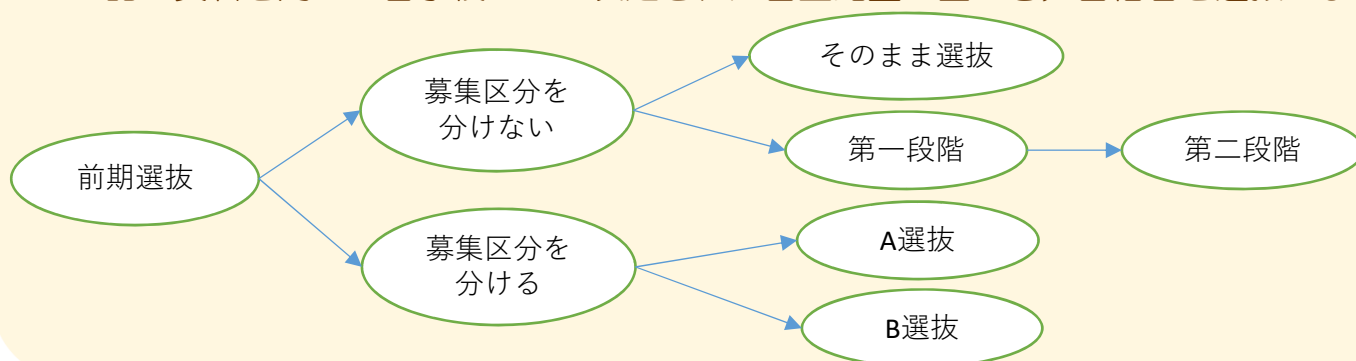
前期選抜

- 募集人員は、10～50%を標準とし、学校・学科ごとに決定されますが、前期募集枠を2つに区分し、「A選抜」「B選抜」として募集を行うことが出来ます。その際、部活での経験等の特定の出願要件を設定する場合は、区分を「B選抜」として募集します。また、募集する際の区分は設けず、全ての受検者を対象に、段階を分けて選抜を行う場合もあります。

●選抜資料

- ①学力検査…【共通問題】国語・数学・英語（各40分、各50点）
※ただし、共通問題は総合問題に代えることが出来る
総合問題…実施する各学校が作成した問題（学校により決定）
- ②学校採択による検査…面接、英語面接、実技検査、作文、小論文、パーソナル・プレゼンテーション等（学校により決定）
- ③調査書…各教科の学習の記録、特別活動等の記録、等
評定は、中学1～3年（3年間）の9科（5段階評価）が対象
※中3の評定は、12月末日までの成績

- 上記の資料を用いて各学校ごとに決定された審査比重に基づき、合格者を選抜します。



後期選抜

●募集人員は、募集定員から前期選抜募集人員を減じた人数です。ただし、前期選抜合格者数が前期選抜募集人員に満たない場合は、前期選抜合格者数を減じた人数となります。

●志願変更は規定された日付に、1回のみ可能です。

●選抜資料

①学力検査…【共通問題】国語・数学・英語・理科・社会（各100点）

・検査時間は、各45～60分で行うこととし、各学校により決定。

・配点は、傾斜配点を行うことも可能で、各学校により決定。

②学校採択による検査…面接や実技検査等

・実施は各学校により決定され、実施しない場合もある。

③調査書…各教科の学習の記録等

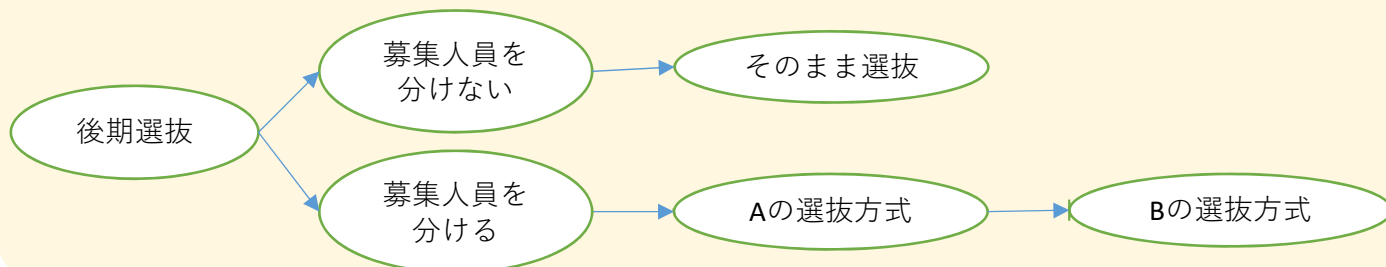
評定は、中学1～3年（3年間）の9科（5段階評価）が対象

※なお、中3の評定は、12月末日までの成績

●上記の資料を用いて各学校ごとに決定された審査比重に基づき、合格者を選抜しますが、特に評定数値と学力検査の結果を総合して選抜することを原則とします。

その際、調査書の内容については、各教科の学習の記録以外の記載も重要な資料として扱います。

また、後期募集人員についても、募集人員を2つに区分し、それぞれ異なった方法で選抜する場合があります。その際は、受検者全員を「Aの選抜方式」で判定し、合格者を決めた後、「Bの選抜方式」で判定して残りの合格者を決めます。



フレックス スクール

●単位制の昼間定時制を設置する高校のことです。

昼間部・夜間部等の定時制の他に、通信制課程が設置されています。

- ・県立前橋清陵高等学校（2部制）
- ・県立太田フレックス高等学校（3部制）

定められた教科の中から、科目選択を行い、生徒それぞれが時間割を作り学習することで、生徒のライフスタイルに合わせた学習が可能となります。

修得単位を加算して条件を満たせば、3年間で卒業することも可能です。

また、フレックススクールには秋入試もあり（10月入学生）、例年8月頃に行われています。